



団体名	事業等の名称	事業の概要			交付決定 年月日	事業予算(単位:円)		
		事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
1 上溝を学ぶ会	「見る知る学ぶ 上溝マップ」作成	上溝地区は住宅開発が進み、他地域からの住民の転入が増加している。これらの転入者は概して地元への関心が低く、地域との係わりや行事への参加率も低い。幸い上溝地区は他地域に比べて歴史・文化・行事等(歴史的文化的資産)に恵まれている。これらの資産を活用してコミュニティ活動を振興し、相互の連帯を深めることによって、地域住民の郷土愛が生まれ、地域の活性化が期待できると考える。	地域住民の連帯感や郷土愛を育むため、地域の歴史的文化的資産を紹介するマップを15,000部作成し、地域の家庭・学校・公共施設に配布する。また、マップ完成後は、公民館とタイアップし、地域内外の人々を対象に案内事業を行うなど、地域の歴史的文化的資産の活用を資する活動を行う。	上溝地区の歴史的文化的資産(ポイント)をマップ上に表示し、推奨コースを設定する。マップを使って迷わず目的のポイントに着けるようにする。各ポイントの写真と紹介文を記載する。また、地図上に表示しにくい地域の行事なども折込解説書にして、使いやすく、利用者の関心を惹くように工夫する。完成したマップは、自治会や公民館の協力を得て、地域の家庭や学校に配布する。また、地域内外の公民館、図書館等の公共施設にも配布し、上溝の歴史的文化的資産をPRする。	5月20日	950,000	950,000	950,000
2 上溝地区安全安心まちづくり事業実行委員会	上溝地区交通安全啓発事業	上溝地区では、交通安全、特に通学のために上溝駅周辺や横山公園から坂を下りてくる高校生の自転車運転マナーが悪いことが以前より問題となっている。昨年度のまちづくり会議でも地区の課題として話し合いを行い、継続的な啓発活動を行っていくこととなった。また、今年度のまちづくり会議でも地区内の自転車運転マナーについて地区の課題のひとつであるとの意見がある。	地域の高校生・住民が啓発事業を通じて、交通安全意識の高揚を図り、地域内における交通マナーの向上、交通事故を減らすことを目的とする。	高校生や地域住民を対象に自転車に関係する交通事故を再現したスクエア・ストレイト事業を上溝南高校と合同で実施し、高校生や地域住民の自転車運転マナーの向上と交通安全意識の高揚を図る。	10月1日	430,000	430,000	430,000
3 上溝ふれあい歌集作成委員会	上溝ふれあい歌声プロジェクト	平成26年度の上溝地区の高齢化率は21.8%であり、今後も高齢化が加速することは明白である。こうした中、高齢者の健康維持や、孤独化及び認知症予防のひとつとして音楽療法があげられるが、中でも歌を唄うことの効果が実証されている。 現在、本地区内のサロン等では、市販の歌集や過去に作成された歌集を繰り返し利用しているが、長年の利用により劣化し、今後の使用が難しくなっている。 また、本地区では、地区社協主催の「ふくしまつり」が開催されているが、その中のイベントとして「歌声喫茶」が実施されている。この事業は幼児から高齢者まで幅広い世代を対象として、広く地域住民の参加を促すものであるが、その事業にも利用することができる。	高齢者の健康維持、孤独化の防止及び認知症の予防など多くの機会に利用できる歌集を作成し、地区の高齢者の健康維持や介護予防に役立てる。また、歌集を作成、配布、利用することを通して、次のとおり、地域住民の連携強化を図る。 ・現在高齢者サロンが立ち上がっていない地域にサロン立ち上げのためのツールとして利用してもらう。 ・歌集を利用し、幼児から高齢者まで幅広い世代が参加できるイベントを開催することで、世代間の交流を図る。 ・地区内の高齢者等の支援サークルや支援ボランティアの間に繋がりをもってもらえる機会をつくる。 ・歌集を利用し、高齢者の健康維持や介護予防に声を出して歌うことの効果について学ぶことで、ボランティアグループや高齢者サロンの担い手のスキルアップを図る。	・高齢者の健康維持、孤独化の防止及び認知症の予防など多くの機会に利用できる歌集を作成する。 ・歌集に収める曲は、高齢者サロンの担い手や地区内の合唱サークルなどの意見を聞き、色々なジャンルから取り上げる。 ・作成した歌集は、自治会など地区内の団体に協力依頼し、高齢者が利用するサロンの会場となる自治会館に配置して、サロン開催の際や老人クラブのイベントの際に利用する。 ・地区内の高齢者支援サークル等に貸出しを行い、地区の高齢者の健康維持や介護予防に役立てる。 ・地区社協が主催する「ふくしまつり」で好評を得ている「歌声喫茶」において利用する。 ・皆で声を出して歌うことが高齢者の健康維持や介護予防に役立つことの周知を行う。また、その手法・効果などを学ぶ機会をつくるなど、担い手側の支援も図っていききたい。 ・皆が知っている歌、子ども達や若い世代にも伝えたい歌を掲載する予定であり、これらの曲を歌う様々な世代が参加することができる事業を企画、実施することで、世代間の交流を図っていききたい。	1月21日	504,000	504,000	504,000
						1,884,000	1,884,000	1,884,000